

江戸最後の名庭

柴又帝釈天 邃溪園 27

シバマタタイシャクテン スイケイエン

葛飾区柴又7-10-3 ☎03-3657-2886

東京都指定名勝「邃溪園」

邃溪園の名は、庭園の滝の風情が幽邃でもの静かであることによります。関東の高名な造園師、永井楽山翁によって昭和40(1965)年より大改修が始まり昭和43(1968)年に完成しました。昭和59(1984)年、庭の周りに回廊を設けてご参拝の方も様々な視点から庭園を鑑賞できるようになりました。本園は本来、大客殿(賓客専用)からの座観式の視点で楽山師により作庭されたもので、大客殿と庭園はともに昭和4(1929)年に竣工しました。令和5(2023)年3月に大客殿が追加指定され、庭園全体が指定名勝になりました。

- 入園料 庭園・彫刻ギャラリー共通 大人400円 子供(小・中学生)200円
- 開園時間 9:00~16:00
- 休園日 12月28日~1月3日(庭園のみ休園)

キャンペーン期間中のイベント

- ◆弦楽四重奏(0カルテット)
3月16日(土) 11:00~11:40、13:00~13:40
*無料 *雨天開催
- ◆珊瑚ノ宮・宮ノ舞(奉納舞)
3月17日(日)、4月14日(日) / 各日11:00~12:00、14:00~15:00
*無料 *雨天中止
- ◆茶室・不答庵 お茶席体験会
3月31日(日) 10:00~15:00 *席料700円
- ◆ジブシーギター・若柳吉三郎演奏会
4月10日(水) 11日(木) / 各日12:30~13:00、
13:30~14:00、14:30~15:00 *無料 *雨天開催

アクセス・詳細↓



春の

Japanese Garden in Tokyo

東京いい庭 キャンペーン

キャンペーン期間

2024年3月16日(土)~4月14日(日)

- 1 浜離宮恩賜庭園
- 2 旧芝離宮恩賜庭園
- 3 小石川後樂園
- 4 六義園
- 5 旧岩崎邸庭園
- 6 向島百花園
- 7 清澄庭園
- 8 旧古河庭園
- 9 殿ヶ谷戸庭園
- 10 東京都庭園美術館
- 11 皇居東御苑
- 12 新宿御苑
- 13 東京国立博物館
- 14 国営昭和記念公園 日本庭園
- 15 肥後細川庭園



小さな和散歩 京王百草園

京王百草園 28 ケイオウモグサエン

日野市百草560 ☎042-591-3478

日野市指定文化財 史跡・名勝「百草園(松連寺跡)」

江戸時代の享保年間(1716年~)、小田原城主大久保侯の室であった寿昌院慈岳元長尼が徳川家康の長男・信康追悼のため当地に松連寺を再建しました。その後、時代を経て作られたのが京王百草園です。秋には美しい紅葉が堪能でき、また梅の季節には約50種500本の梅たちが咲き競い、園内の華やかさも最高潮に達します。

- 入園料 大人500円、小人100円
(障害者割引あり 割引大人400円 割引小人80円)
- 開園時間 9:00~17:00(11月・12月は16:30まで)
- 休園日 毎週水曜日(水曜祝日の場合は翌日)
12月30日~1月3日
なお催事期間中は無休

アクセス・詳細↓



- 台東区立朝倉彫塑館 16
- 旧安田庭園 17
- 池田山公園 18
- 山本亭 19
- 薬師池公園 20
- 八芳園 21
- 根津美術館 22
- 毛利庭園 23
- ホテル椿山荘東京 24
- 旧安田楠雄邸庭園 25
- 小石川植物園 26
- 柴又帝釈天 邃溪園 27
- 京王百草園 28



江戸の潮風そよぐ浜御殿



ハナモモ



ポケ

浜離宮恩賜庭園 ①

ハマリキョウオンシテイエン

中央区浜離宮庭園1-1 ☎03-3541-0200

特別名勝・特別史跡「旧浜離宮庭園」

海水を引き入れた潮入の池と、二つの鴨場を伝え、江戸時代には、江戸城の「出城」としての機能を果たしていた徳川将軍家の庭園です。承応3(1654)年、徳川将軍家の鷹狩場に、四代将軍家綱の弟松平綱重が、海を埋め立てて別邸を建てました。その後、この屋敷は将軍家の別邸となり、「浜御殿」と呼ばれるようになりました。以来、歴代将軍によって幾度かの造園と改修工事が行われ、現在の姿の庭園が完成しました。明治維新ののちは皇室の離宮となり、名称を「浜離宮」と変え、昭和20(1945)年11月3日、東京都に下賜され、昭和21(1946)年4月から「浜離宮恩賜庭園」として公開されました。その後、昭和27(1952)年に、国の特別名勝・特別史跡に指定されました。

■入園料 一般300円、65歳以上150円(小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
年間パスポート一般1,200円、65歳以上600円

■開園時間 9:00~17:00(入園は16:30まで)

■休園日 12月29日~1月1日

キャンペーン期間中のイベント

◆庭園ガイド

(日本語)土曜、日曜、祝日/11:00、14:00(各回約60~90分)
(英語)土曜、月曜/11:00(各回約60~90分)

*無料 *気象状況等により中止の場合あり

◆御茶屋ガイド

木曜/11:00、12:00、13:00、14:00(各回約40分)

*無料 *気象状況等により中止の場合あり

アクセス・詳細↓



今に残る水戸徳川家ゆかりの名園



小石川後楽園 ③

コイシカワコウラクエン

文京区後楽1-6-6 ☎03-3811-3015

特別史跡・特別名勝「小石川後楽園」

江戸時代初期、寛永6(1629)年に御三家の一つである水戸徳川家藩祖の頼房公が、水戸藩の江戸屋敷の庭園として造成を始め、二代藩主の光圀公の代に完成した庭園です。光圀公は作庭にあたり、明の遺臣朱舜水の意見を用い、円月橋や西湖堤など中国の景観を取入れ、園名も舜水の命名によるなど中国趣味豊かな庭園です。庭園の様式は回遊式築山泉水庭園であり、文化財保護法により国から特別史跡・特別名勝の重複指定を受けた江戸時代を代表する名園です。

■入園料 一般300円、65歳以上150円(小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
年間パスポート一般1,200円、65歳以上600円

■開園時間 9:00~17:00(入園は16:30まで)

■休園日 12月29日~1月1日

キャンペーン期間中のイベント

◆庭園ガイド

(日本語)土曜・日曜/11:00、14:00(各回約60分)

(英語)土曜/10:30(約60分)

*無料 *気象状況等により中止の場合あり

アクセス・詳細↓



JR浜松町駅から徒歩1分、都会のオアシス



旧芝離宮恩賜庭園 ②

キョウシバリキョウオンシテイエン

港区海岸1-4-1 ☎03-3434-4029

国指定名勝「旧芝離宮庭園」

今に残る最も古い大名庭園のひとつ。典型的な「池泉を中心とした回遊式庭園」で、その地割りと石組は秀逸です。かつては海面でしたが埋め立てられ、延宝6(1678)年に老中・大久保忠朝の邸地となり、忠朝は上屋敷を建てる際に、藩地の小田原から庭師を呼び寄せて作庭し、これを「楽壽園」と命名しました。その後幾人かの所有者を経て、大正13(1924)年1月、昭和天皇のご成婚記念として、東京市(都)に下賜され、同年4月に「旧芝離宮恩賜庭園」として一般公開されました。

■入園料 一般150円、65歳以上70円(小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
年間パスポート一般600円、65歳以上280円

■開園時間 9:00~17:00(入園は16:30まで)

■休園日 12月29日~1月1日

キャンペーン期間中のイベント

◆庭園ガイド

(日本語)土曜、日曜/14:00(約60分)

*無料 *気象状況等により中止の場合あり

アクセス・詳細↓



和歌の心息づく雅な大名庭園



六義園 ④

リクギエン

文京区本駒込6-16-3 ☎03-3941-2222

特別名勝「六義園」

五代将軍・徳川綱吉の信任が厚かった川越藩主・柳澤吉保が元禄15(1702)年に築園した和歌の趣味を基調とする「回遊式築山泉水庭園」で、池をめぐる園路を歩きながら移り変わる景色を楽しめる繊細で温かな日本庭園です。江戸時代の大名庭園の中でも代表的なもので、明治時代に入って、三菱の創業者である岩崎彌太郎の別邸となりました。その後、昭和13(1938)年に東京市(都)に寄付され、昭和28(1953)年に国の特別名勝に指定された貴重な文化財です。

■入園料 一般300円、65歳以上150円(小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
年間パスポート一般1,200円、65歳以上600円

■開園時間 9:00~17:00(入園は16:30まで)

■休園日 12月29日~1月1日

キャンペーン期間中のイベント

◆春夜の六義園 夜間特別観賞

3月16日(土)~3月24日(日) 18:30~21:00(最終入園20:00)

夜間特別観賞券 オンライン前売券900円 当日券1,100円

◆庭園ガイド

(日本語)土曜、日曜、祝日/11:00、14:00(各回約60分)

3月16日(土)~3月24日(日)は毎日

(英語)第1・第3日曜/11:00、14:00(各回約60分/外国の方対象)

*無料 *気象状況等により中止の場合あり

アクセス・詳細↓



明治のロマンが漂う
洋館と芝庭の庭園



旧岩崎邸庭園 ⑤

キュウイワサキテイエン

台東区池之端1-3-45 ☎03-3823-8340

重要文化財「旧岩崎家住宅」

三菱財閥創業者である岩崎彌太郎の長男で、第3代社長の久彌の邸宅として、明治29(1896)年に竣工しました。往時の3分の1の面積を持つ園内には、洋館、和館大広間、撞球室の3棟が現存しています。洋館と撞球室は、鹿鳴館などを設計した英国人建築家ジョサイア・コンドルによるもの。和館は当時の名棟梁、大河喜十郎と伝えられます。明治期の典型的な大邸宅の形式を今に残すものとして、国の重要文化財に指定されています。

■入園料 一般400円、65歳以上200円(小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
年間パスポート一般1,600円、65歳以上800円

■開園時間 9:00~17:00(入園は16:30まで)

■休園日 12月29日~1月1日

キャンペーン期間中のイベント

◆東京・春・音楽祭「桜の街の音楽会」

4月20日(土)
13:00、15:00(各回約20分)

◆庭園ガイド

(日本語)毎日/11:00、14:00(各回約45分)
*無料 *気象状況等により中止の場合あり

アクセス・詳細↓



全国から集めた名石が彩る
回遊式林泉庭園



清澄庭園 ⑦

キヨスミテイエン

江東区清澄3-3-9 ☎03-3641-5892

東京都指定名勝「清澄庭園」

江戸の豪商、紀伊国屋文左衛門の屋敷跡と伝えられ、享保間に久世大和守の下屋敷となり、明治11(1878)年、岩崎彌太郎が社員の慰安や貴賓を招待する場として造園しました。その後、隅田川の水を引いた大泉水をはじめ、築山、枯山水を中心に、周囲には全国から取り寄せた名石を配して、明治の庭園を代表する「回遊式林泉庭園」が完成。大正12(1923)年の関東大震災で壊滅的被害を受けましたが、東京都への寄付後、昭和7(1932)年に再整備され、美しいたずまいを現在に伝えています。

■入園料 一般150円、65歳以上70円(小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
年間パスポート一般600円、65歳以上280円

■開園時間 9:00~17:00(入園は16:30まで)

■休園日 12月29日~1月1日

キャンペーン期間中のイベント

◆庭園ガイド

(日本語)土曜、日曜、祝日/11:00、14:00(各回約60分)
*無料 *気象状況等により中止の場合あり

アクセス・詳細↓



江戸時代後期に商人によって造られた花園



向島百花園 ⑥

ムコウジマヒヤッカエン

墨田区東向島3-18-3 ☎03-3611-8705

国指定名勝・史跡「向島百花園」

文化・文政期(1804~1830年)、骨董商を営んでいた佐原鞠場が、交遊のあった江戸の文人墨客の協力を得て、花の咲く草木観賞を中心とした花園として開園しました。百花園とは、一説では「四季百花の乱れ咲く園」という意味でつけられたとされます。開園当初は360本のウメが主体でしたが、後に詩経や万葉集など中国・日本の古典に詠まれている有名な植物を集め、四季を通じて花が咲く庭となりました。庶民的で文人趣味豊かな庭として、大名庭園とは異なった美しさが魅力の庭園です。

■入園料 一般150円 65歳以上70円(小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
年間パスポート一般600円、65歳以上280円

■開園時間 9:00~17:00(入園は16:30まで)

■休園日 12月29日~1月3日

キャンペーン期間中のイベント

◆庭園ガイド

(日本語)土曜、日曜/11:00、14:00(各回約30分)
*無料 *気象状況等により中止の場合あり

アクセス・詳細↓



和と洋が調和する
大正の庭園



旧古河庭園 ⑧

キウフルカワテイエン

北区西ヶ原1-27-39 ☎03-3910-0394

国指定名勝「旧古河氏庭園」

武蔵野台地の地形を活かし、北側の小高い丘には洋館を建て、斜面には洋風庭園、低地には日本庭園を配した「和」と「洋」の調和が魅力の庭園です。古河家三代目当主・古河虎之助により造られた現在の建物と庭園は、大正初期の原型を留める貴重な存在です。洋館と洋風庭園は明治から大正にかけて、鹿鳴館や旧岩崎邸庭園洋館などを手がけた英国人建築家ジョサイア・コンドルの設計。日本庭園は、京都の著名な庭師・植治こと小川治兵衛が作庭しました。

■入園料 一般150円、65歳以上70円(小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
年間パスポート一般600円、65歳以上280円

■開園時間 9:00~17:00(入園は16:30まで)

■休園日 12月29日~1月1日 そのほかの休園日はホームページをご参照ください。

キャンペーン期間中のイベント

◆庭園ガイド

(日本語)土曜、日曜、祝日/11:00、14:00(各回約60分)
*無料 *気象状況等により中止の場合あり

アクセス・詳細↓



武蔵野の山野草と湧水の庭



殿ヶ谷戸庭園 ⑨

トノガヤトテイエン

国分寺市南町2-16 ☎042-324-7991

国指定名勝「殿ヶ谷戸庭園(随宜園)」

武蔵野段丘の南縁「国分寺崖線」と呼ばれている段丘崖とその下端部付近の礫層から浸出する湧水を利用し、雑木林の風致を生かして作られた近代の別荘庭園です。庭園の段丘上には芝生地が広がる洋風庭園があり、崖線の傾斜面はアカマツ・モミジ・竹林・クマザサで覆われ、崖線下には湧水を湛える次郎弁天池を中心とした和風庭園があります。

- 入園料 一般150円、65歳以上70円(小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
年間パスポート一般600円、65歳以上280円
- 開園時間 9:00~17:00(入園は16:30まで)
- 休園日 12月29日~1月1日

キャンペーン期間中のイベント

- ◆カタクリを詠む
3月16日(土)~3月24日(日)
- ◆クイズで学ぶ殿ヶ谷戸!
3月16日(土)~3月24日(日)
- ◆庭園ガイド
(日本語)日曜、第2・第4土曜/11:00、14:00(各回約45分)
*無料 *気象状況等により中止の場合あり

アクセス・詳細↓



皇室のお庭 —都心で自然に親しむ



皇居東御苑 ⑪

コウキョヒガシギョエン

千代田区千代田1 ☎03-3213-1111

特別史跡「江戸城跡」

皇居東御苑は、天皇后両陛下のお住まいである皇居の中にあるお庭で、昭和43(1968)年から一般に公開されています。草木に分かりやすい名札がつけられ、近代以前の日本で食されていた古い品種が植えられた果樹園、流れがあって、昆虫や野鳥が好む落葉広葉樹が植えられた雑木林など、入園者に、四季折々の多様な景色を楽しんでもらえるように、上皇上皇后両陛下のお考えにより様々な工夫が凝らされています。

- 入園料 無料
- 開園時間 3月1日~4月14日 9:00~17:00(入園は16:30まで)
4月15日~8月31日 9:00~18:00(入園は17:30まで)
季節により異なるため、詳細はホームページ参照
- 休園日 月曜日・金曜日 12月28日~1月3日



アクセス・詳細↓



緑の庭園に建つアール・デコ様式の美術館



東京都庭園美術館 ⑩

トウキョウトテイエンビジュツカン

港区白金台5-21-9 ☎050-5541-8600(ハローダイヤル)

重要文化財旧朝香宮邸

1933(昭和8)年に建設されたアール・デコ様式の旧朝香宮邸、その空間をいかした展覧会と庭園が調和した東京都庭園美術館は、1983(昭和58)年の開館以来、皆様に親しまれてきました。2014(平成26)年ホワイトキューブのギャラリーを備えた新館が完成して新たな創造空間が加わり、文化財保護と新しい価値創造を目指して芸術作品鑑賞の機会を提供してまいります。

- 入館料(観覧入場料含む) 展覧会によって異なります。詳細はホームページをご覧ください。
- 庭園入場料 一般200円、大学生(専修・各種専門学校含む)160円、中・高校生・65歳以上100円(小学生以下および都内在住・在学の中学生は無料)
- 開園時間 10:00~18:00(入館は17:30まで)
ただし、3/22、23、29、30は10:00~20:00(入館は19:30まで)
- 休館(休園)日 毎週月曜日(祝休日の場合は開館、翌日休館)、年末年始

キャンペーン期間中のイベント

- ◆春の夜間開館
3月22日(金)、23日(土)、29日(金)、30日(土)
*20:00まで営業(最終入館は19:30まで)
- ◆開館40周年記念「旧朝香宮邸を読み解くAtoZ」展
2月17日(土)~5月12日(日)

アクセス・詳細↓



多様な庭園様式をあわせ持つ 旧皇室庭園



新宿御苑 ⑫

シンジユクギョエン

新宿区内藤町11 ☎03-3350-0151

国指定重要文化財「新宿御苑旧洋館休所」

天正18(1590)年に徳川家の家臣であった内藤清成がこの地に家康から屋敷地を拝領したことに始まり、明治5(1872)年には日本の近代農業振興を目的とする内藤新宿試験場が設置され、その後、宮内省所管の植物御苑となり、明治39(1906)年に日本初の皇室庭園として整備されました。戦後になり「国民公園」として一般に開放された広さ58.3ha、周囲3.5kmの園内では、整形式庭園、風景式庭園、日本庭園といった多様な庭園や、春の桜や秋の紅葉など四季折々の風景が楽しめます。

- 入園料 一般500円、65歳以上、学生(高校生以上)250円※証明書要提示
小人(中学生以下)無料
- 年間パスポート 一般2,000円、高校生1,000円
- 開園時間 3月15日~9月30日 9:00~17:30(閉門18:00)
※季節により異なるため、詳細はホームページ参照。
- 休園日 毎週月曜日(月曜日が休日の場合はその翌日)
※3月25日~4月24日、及び11月1日~11月15日までは無休
年末年始(12月29日~1月3日)

*お花見の時期の入園は事前予約制を実施する予定のため、来園前に日程や予約方法を環境省新宿御苑の公式ホームページでご確認ください。

アクセス・詳細↓



多彩な植物があふれる憩いの庭園



東京国立博物館 13 トウキョウコクリツハクブツカン

台東区上野公園13-9 ☎050-5541-8600(ハローダイヤル)

東京国立博物館の本館北側には、四季折々の花や紅葉に彩られる庭園があります。池を中心に5棟の茶室を配し、珍しい樹木や野草が植えられているのが特徴です。また、5代将軍徳川綱吉が法隆寺に献納した五重塔、石碑や燈籠などが庭園には残されています。開館日は自由に散策することができます。

- 入園料 総合文化展観覧料で入園可(一般1,000円、大学生500円)
※障がい者とその介護者各1名、高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は無料 ※特別展は別途観覧料が必要
- 開園時間 庭園開放9:30~17:00(博物館の開館時間はウェブサイト参照)
- 休館日 月曜日(祝・休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、その他臨時休館・臨時開館あり
※天候や整備作業等により、庭園を閉鎖もしくは散策エリアを制限する場合があります。
※茶室内には入れません。

キャンペーン期間中のイベント

◆建立900年 特別展「中尊寺金色堂」

1月23日(火)~4月14日(日)

◆博物館でお花見を

3月12日(火)~4月7日(日)

*イベントの詳細や最新情報は東京国立博物館ウェブサイトをご確認ください。

アクセス・詳細↓



肥後熊本藩細川家下屋敷の面影を残す大名庭園



肥後細川庭園 15 ヒゴホソカワテイエン

文京区目白台1-1-22 ☎03-3941-2010

この地は幕末期、肥後熊本54万石の藩主細川越中守の下屋敷、抱屋敷でした。自然の丘陵を活かした池泉回遊式庭園には、斜面林や湧水を利用した細い流れなどがあり、変化に富んだ景観を見ることができます。春は、山肌の一部が桜に色づいたあと新緑を迎え、6月上~中旬には肥後六花の一つ「肥後花菖蒲」が咲き誇ります。また、大正時代の面影が残る建物「松聲閣」は、集会室として和室・洋室(有料/要事前予約)が利用できるほか、2階展望所から庭園が一望できます。

- 入園料 無料
- 開園時間 2月~10月 9:00~17:00(入園は16:30まで)
11月~1月 9:00~16:30(入園は16:00まで)
- 休園日 12月28日~1月4日



アクセス・詳細↓



武蔵野の樹林地を基調とした日本庭園
-盆栽苑を併設-



国営昭和記念公園 日本庭園 14

コクエイショウワキネンコウエン ニホンテイエン

立川市緑町3173 ☎042-528-1751(自動応答システム)

武蔵野の豊かな緑と明るい樹林地の景観を基調とし、四季折々の季節感を自然写景により表現した庭園です。日本の伝統的造園技術を駆使して作庭した「池泉回遊式庭園」で、戦後に作られた日本庭園としては首都圏最大級です。中心に大きな池を作り、池の周辺には庭のたたずまに対応し、銅板葺き木造寄屋建築の「欽楓亭」や、大窓から池を眺望できる「清池軒」などの建築を配しています。また、欽楓亭ではお抹茶とお菓子をお楽しみいただけます。庭園内には「盆栽苑」が併設され、専門スタッフの解説を受けながら、国風盆栽展級の盆栽を含む約50点の季節の盆栽をご鑑賞いただくこともできます。

- 入園料 大人450円、小・中学生無料、65歳以上210円
※国営昭和記念公園の入園料(日本庭園への入園料も含む)
- 開園時間 9:30~17:00(3月~10月) ※日本庭園は開園30分前
季節により異なるため、詳細はホームページ参照
- 休園日 年末年始(12月31日・1月1日)、1月の第4月曜日とその翌日

キャンペーン期間中のイベント

◆フラワーフェスティバル

3月16日(土)~5月26日(日)

*ナノハナ、サクラに始まり、約25万球の鮮やかなチューリップ、ネモフィラの青と空のコントラストなど、春の花々が咲き誇る開花リレーをお楽しみください。

アクセス・詳細↓



朝倉流哲学を愉しむ。



台東区立朝倉彫塑館 16

タイトウクリツアサクラチョウソカン
(旧朝倉文夫氏庭園 キュウアサクラファミオシテイエン)

台東区谷中7-18-10 ☎03-3821-4549

国指定名勝「旧朝倉文夫氏庭園」 国登録有形文化財

朝倉彫塑館は、近代日本を代表する彫刻家 朝倉文夫(1883~1964)のアトリエと住居だった建物です。朝倉が自ら設計・監督し、昭和10(1935)年に完成しました。朝倉は昭和39(1964)年に世を去りますが、その遺志を受けた遺族により昭和42(1967)年から朝倉彫塑館として一般公開され、その後昭和61(1986)年に台東区に移管されました。平成13(2001)年には建物が国の有形文化財に登録、平成20(2008)年には建築と庭園が一体をなす芸術上、鑑賞上の価値が認められ、敷地全体が「旧朝倉文夫氏庭園」として国の名勝に指定されています。彫刻作品、建築、庭園を堪能できる施設です。

- 入館料 一般500円、小・中・高校生250円
※障害者手帳、療育手帳、精神障害者福祉手帳、特定疾患医療受給者証をお持ちの方とその介護者の方は無料
※入館時は靴を脱ぎ、靴下着用
- 開館時間 9:30~16:30(入館は16:00まで)
- 休館日 月・木曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始、展示替期間等

キャンペーン期間中のイベント

◆特集「没後60年 朝倉文夫の世界—女性像—」

3月8日(金)~6月5日(水)

朝倉の創作活動の軸となった人体表現。特に女性像を特集いたします。

アクセス・詳細↓



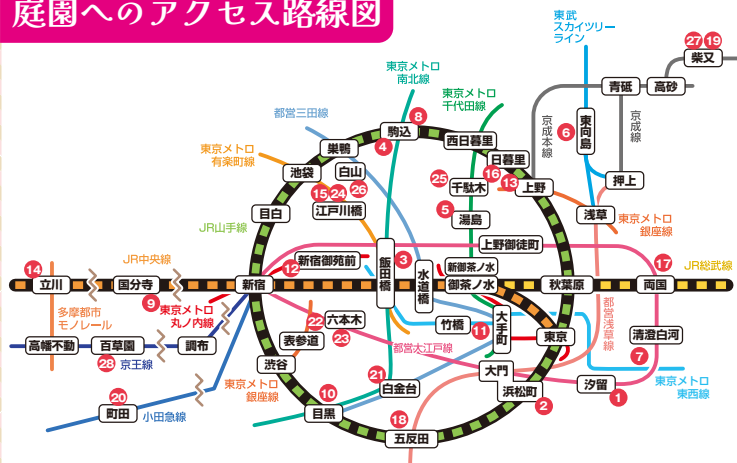
～「春の東京いい庭キャンペーン」とは～

東京の日本庭園が持つ魅力を発信するためのキャンペーンで、桜花期に各庭園で特色を生かしたイベント等を実施します。

本キャンペーンは、東京の日本庭園が持つ魅力を発信することで、都民や東京を訪れる方に広くその魅力を知っていただくため、都立・国公立・民間等の庭園により設立した「東京の日本庭園おもてなし協議会」の取組の一環として行うものです。



庭園へのアクセス路線図



- 1 浜離宮恩賜庭園
- 2 旧芝離宮恩賜庭園
- 3 小石川後楽園
- 4 六義園
- 5 旧岩崎邸庭園
- 6 向島百花園
- 7 清澄庭園
- 8 旧古河庭園
- 9 殿ヶ谷戸庭園
- 10 東京都庭園美術館
- 11 皇居東御苑
- 12 新宿御苑
- 13 東京国立博物館
- 14 国営昭和記念公園 日本庭園
- 15 肥後細川庭園
- 16 台東区立朝倉彫塑館
- 17 旧安田庭園
- 18 池田山公園
- 19 山本亭
- 20 薬師池公園
- 21 八芳園
- 22 根津美術館
- 23 毛利庭園
- 24 ホテル椿山荘東京
- 25 旧安田楠雄邸庭園
- 26 小石川植物園
- 27 柴又帝釈天 邃溪園
- 28 京王百草園

庭園めぐりに便利な一日乗車券

都営まるごときっぷ

都営地下鉄、東京さくらトラム(都電荒川線)、都バス、日暮里・舎人ライナーを1日に限り何回でも乗車できます。

大人 700円
小児 350円

都営地下鉄・東京メトロ一日乗車券

都営地下鉄と東京メトロの全線を1日に限り何回でも乗車できます。

大人 900円
小児 450円

東京フリーきっぷ

都営地下鉄、都営バス、東京さくらトラム(都電荒川線)、日暮里・舎人ライナー、東京メトロ、JR線(都区内)を1日に限り何回でも乗車できます。

大人 1,600円
小児 800円

☆都営交通沿線、東京メトロ沿線の施設や店舗で提示すると、割引やプレゼントなどの特典を受けることができます。(対象乗車券のご利用当日に限ります。)

※特典の内容は、一日乗車券特典ガイドブック「ちかたく」をご覧ください。(https://chikatoku.enjoytokyo.jp/)

☆①～⑨の庭園で「東京フリーきっぷ」を提示していただくと、入場料が2割引き!



旧安田庭園 17

キョウヤスタディエン
墨田区横網1-12-1 ☎03-5608-6661
東京都指定名勝

旧安田庭園は、安田財閥の創始者である安田善次郎が明治27(1894)年に作庭した庭園で、平成8(1996)年3月に東京都指定名勝に指定されました。この庭園は、かつては隅田川の水を引いた汐入池を有する池泉廻遊式庭園でした。現在は、この汐入池を人工の施設で再現しています。また、庭園は、JR総武線両国駅、都営大江戸線両国駅から徒歩約5分とアクセスに優れ、周辺には国技館、江戸東京博物館、すみだ北斎美術館などの文化施設、観光スポットもたくさんありますので、ぜひ、ご来園ください。

- 入園料 無料
 - 開園時間 9:00～18:00(4月～9月は9:00～19:30)
 - 休園日 12月29日～1月1日
- ※一部、庭園の整備工事で通行できない可能性があります。



池田山公園 18

イケダヤマコウエン
品川区東五反田5-4-35 ☎03-3447-4676

かつての大名下屋敷の一部を整備した小公園で、武蔵野台地末端の起伏に富んだ地形を生かして高台にはのぞき池方式の四阿、底部にはひょうたん池を配し、その周辺を巡る池泉廻遊式庭園としています。また、山野草類を各所に配植し、斜面にはサツキ・ツツジ類、周辺にはモミジ類があり、四季を通して憩いの場となっています。

- 入園料 無料
- 開園時間 7:30～17:00(7・8月を除く) 7:30～18:00(7・8月)
- 休園日 12月29日～1月3日



昭和初期の庭園様式が残る
書院庭園

山本亭 19

ヤマモトテイ

葛飾区柴又7-19-32 ☎03-3657-8577

葛飾区登録文化財「山本亭附庭園」 東京都選定歴史的建造物「葛飾区山本亭」

庭園は270坪の広さがあり、縁先の近くには池泉を、背後には緑濃い植え込みと築山を設けて滝を落とすという典型的な書院庭園です。昭和初期における庭園様式を現在まで残した稀有な例です。滝は池の最も遠い部分の入江奥に設けられ、庭園に奥行の深さと心地良い滝の音を作り出しています。入館料は100円となっており、別途有料で喫茶メニューをご用意しております。庭園を眺めながら、ごゆっくりお過ごしください。

- 入園料 100円(中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料)
- 開園時間 9:00~17:00
- 休館日 第3火曜日(祝日・休日の場合は、直後の平日)、12月の第3火曜日から木曜日

キャンペーン期間中のイベント

- ◆若柳吉三郎ジブシーギターによる和の調べ
3月2日(土) 13:30~14:00、14:30~15:00
- ◆北村歩クラシックギターの調べ
3月16日(土) 13:00~13:30、14:00~14:30
- ◆箏演奏
3月10日(日)、17日(日)、24日(日)、31日(日) /
各日 13:00~14:00(予定)
- ◆春琴会大正琴演奏
3月23日(土) 13:30~14:30(予定)

アクセス・詳細↓



江戸時代から続く池泉回遊式庭園

八芳園 21

ハッポウエン

港区白金台1-1-1 ☎0570-064-128(代表)

※画像はイメージです

江戸時代から続く八芳園の庭園には早咲きの河津桜から始まり、吉野桜、しだれ桜、八重桜と約70本の桜が順番に開花していくため長く桜を楽しむことができます。八芳園では、レストラン・料亭からも庭園を眺めることができます。また夜にはライトアップの実施を予定しており、昼とは違う夜桜見物もおおすすめです。

【※ライトアップは状況により、中止になる可能性があります。予めご了承ください。】

- 入園料 無料
- 開園時間 10:00~21:00
- ※ご宴席状況により異なる
- 休園日 年末年始・夏季休業期間

キャンペーン期間中のイベント

- ◆TOKYO SAKURA GARDEN SPRING FESTIVAL 2024
3月20日(水)~4月10日(水)
*下記イベントは同イベント内のコンテンツです。
- ◆庭園ライトアップ
期間中毎日/日没~21:00まで 入場無料
- ◆絆-Night
4月7日(日) 18:30~
*イベント期間中は八芳園レストランにて特別メニューをお楽しみいただけるほか、一夜限りの特別DJイベント「絆-Night」の開催も予定しております。
*詳細は公式HP・公式SNSにてお知らせいたします。
*イベント内容、開催時期に関しては変更になる可能性があります。

アクセス・詳細↓



町田薬師池公園 四季彩の杜
薬師池

薬師池公園 20

ヤクシイケコウエン

町田市野津田町3270 ☎042-724-4399(町田市公園緑地課)
※お問い合わせは平日のみ

東京都指定名勝「福王寺旧園地(薬師池公園)」

薬師池公園は、1982年に「新東京百景」、1998年には「東京都指定名勝」に指定。さらに、2007年に「日本の歴史公園100選」に選定された町田市を代表する公園です。園内中心部には池があり、梅、椿、桜、花しょうぶ、大賀ハス、新緑・紅葉等、四季折々の彩が訪れる人々を楽しませてくれます。また、江戸時代の古民家2棟(旧永井家住宅と旧荻野家住宅)が移築されていて、当時の暮らしを感じることができます。

- 入園料 無料
- 開園時間 6:00~18:00
※季節により異なるため、詳細はホームページを参照してください。
- 休園日 年中無休

アクセス・詳細↓



四季に彩られた17,000㎡の都心のオアシス

根津美術館 22

ネツビジュツカン

港区南青山6-5-1 ☎03-3400-2536

東武鉄道社長などを務めた実業家 初代根津嘉一郎の遺志により、1941年南青山に開館した根津美術館は、国宝7件、重文89件を含む約7600件の日本と東洋の古美術品を擁します。隈研吾設計の展示棟では、年7回の展覧会が開催され、独特の静謐な雰囲気を感じ出しています。嘉一郎の私邸時代の面影を残す約17000㎡の緑豊かな日本庭園には4棟の茶室が点在し、初夏の燕子花、秋の紅葉など四季折々の見どころが楽しめます。

- 入館料 一般1300円~、学生1000円~
(庭園の入場も、美術館入館料が必要)
- 開園時間 10:00~17:00(最終入館16:30)
※オンライン日時指定予約制
- 休館日 月曜日、3月27日(水)~4月12日(金)(展示替え休館)、年末年始

キャンペーン期間中のイベント

- ◆企画展「魅惑の朝鮮陶磁」・特別企画「謎解き奥高麗茶碗」開催中
~3月26日(火)
- ◆特別展「国宝・燕子花図屏風ーデザインの日本美術ー」開催
4月13日(土)~5月12日(日)

*庭園入場には美術館入館料が必要です。当館ホームページでご予約ください。

アクセス・詳細↓



現代建築と現代アートに
彩られた日本庭園



毛利庭園 23

モウリテイエン

港区六本木6丁目 ☎03-6406-6000

大正8年、乃木大将誕生地として旧跡(現東京都旧跡)に指定
昭和18年、毛利甲斐守邸跡として東京都指定旧跡に指定

江戸時代、毛利家の大名屋敷とその庭園があった地に、毛利庭園は誕生しました。大名屋敷のなごりを今に伝える一方、庭園内には現代アートが点在します。六本木ヒルズの現代建築も相まって、伝統と新しさが融合する他では見えない独特の景観が生まれています。庭園中央にある毛利池には1994年にスペースシャトル内で誕生した「宇宙メダカ」の子孫が泳ぎ、毎年カルガモもやって来る等、新たな歴史も始まっています。

- 入園料 無料
- 開園時間 7:00~23:00
- 休園日 年中無休

キャンペーン期間中のイベント

- ◆六本木ヒルズ春まつり2024
4月5日(金)~4月7日(日)
- ◆桜のライトアップ 2024
3月中旬~4月初旬



大正・昭和期の
山の手住宅の庭園



旧安田楠雄邸庭園 25

キュウヤスタクスオテイテイエン

文京区千駄木5-20-18 ☎03-3822-2699(水・土曜日のみ)

東京都指定名勝「旧安田楠雄邸庭園」

「豊島園」の創始者で実業家の藤田好三郎によって大正8年に邸宅がつくられ、その後庭園が完成。関東大震災後に安田善四郎が買い取り、平成7年にご当主の楠雄氏が亡くなるまで大切に住み続けられました。庭園は雁行式に建てられた邸内の各部屋から眺めるための造りとなり、それぞれに違った趣の景色を楽しむことができます。ボランティアの皆さんが愛情込めて手入れをしている庭園・邸宅をぜひご覧ください。

- 入館料 大人500円、中高生200円、小学生以下無料
- 開館時間 10:30~16:00(入館は15:00まで)
- 休館日 水曜日と土曜日のみ開館(日・月・火・木・金曜は休館)

キャンペーン期間中のイベント

- ◆園路特別開放
3月23日(土)、27日(水)、30日(土)、4月3日(水)
邸内から鑑賞するつくりのお庭ですが、特別に園路を開放します。
- ◆しだれ桜と琵琶の音(琵琶演奏会) 事前予約制
3月31日(日)
- ◆防空壕公開 予約不要
4月6日(土)



四季を感じて心を解きはなつ



ホテル椿山荘 東京 24

ホテルチンザンソウトウキョウ

文京区関口2-10-8 ☎03-3943-1111(代表)

「椿山荘三重塔」国登録有形文化財
「椿山荘残月」国登録有形文化財

山の造形美を誇る庭園には、秩父山系の湧き水が巡り、多くの動植物が集います。起伏に富み、推定樹齢500年の椎の木、100種2,300本の椿のほか、桜やモミジなどの木々が茂り、さながら森のような都会のオアシス。その中を虫や鳥が舞い、季節の花が咲きます。庭園では、国内最大級の霧の庭園演出「東京雲海」も実施され、癒しと絶景を体験できます。また、仏塔や羅漢石などの木・石造品が点在しており、まるで史跡から季節の移ろいが見えるようです。

- 入園料 ホテル利用者のみ
- 開園時間 6:00~23:00
- 休園日 年中無休

キャンペーン期間中のイベント

- ◆春のお花見ランチ&ディナービュッフェ2024
2月16日(金)~4月7日(日) 特定日開催



幕府の御薬園を引き継ぐ
東京大学の植物園



小石川植物園 26

コイシカワシヨクブツエン

文京区白山3-7-1 ☎03-3814-0138(自動音声案内)

国指定名勝及び史跡

徳川幕府の御薬園の歴史を引き継ぐ東京大学附属の植物園で、植物学の研究教育の拠点となっている。16ヘクタールの園地は緑に覆われ、温室、分類標本園等の施設、台地、傾斜地、低地、泉水地などの地形を利用して、野生植物を主に4000種以上が植栽されている。また、日本庭園、旧養生所の井戸、精子発見のイチョウ、ニュートンのリンゴなど、長い歴史を物語る数多くの由緒ある植物や遺構が今も残されている。

- 入園料 大人(高校生以上)500円、小人(中学生、小学生)150円
- 開園時間 9:00~16:30(入園は16:00まで)
- 休園日 月曜(祝日と重なる場合は直後の平日)

キャンペーン期間中のイベント

- ◆企画展「VRで見る植物園・植物
=メタバース植物学への誘い=」
1月10日(水)~3月31日(日)
園内柴田記念館にて開催(10:30~16:00)
*入場無料(別途入園料)

